

令和5年 第2回定例会（3月）

一 般 質 問

質問 順位	議席 番号	質問者	質問 順位	議席 番号	質問者
1	8	宮田 真理子	5	1	高波 大吾
2	4	南雲 好幸	6	10	佐藤 守正
3	5	並木 利彦	7	2	渡辺 千恵
4	11	白井 孝雄	8	12	南雲 正

質問事項	質問要旨	答弁 要求
<p>1. 介護の人手不足について</p>	<p>介護人材不足を解消しようと町では介護人材就職支援金支給事業を行っており、また人材緊急支援事業として初任者研修等の受講料を補助している。効果はどのようなであったか。</p> <p>サービス事業を行っている現場では、深刻な人手不足に困窮しているときいている。この状況を打破するために町としてはどんなことが出来るだろうか。一日数時間、食事介助の時だけでも手を貸してもらえたらという現場もある。隙間時間をうまく活用して助けてもらったらどうだろうかと思うが、町長の見解は如何か</p>	<p>町長</p>

質問事項	質問要旨	答弁 要求
1. 湯沢町の情報提供について	<p>広報ゆざわで湯沢町地域環境移動計画（案）について、パブリックコメントの募集があった。</p> <p>新聞を止める人も増え、広報ゆざわを読む町民も減っていると聞く。今は若者を中心にネットによる情報収集が、主流になっている。しかし、2月の第2週まで、湯沢町公式ホームページでパブリックコメント募集案内を見つけるのに手間がかかった。</p> <p>2月15日議会の全員協議会において、新たな広報計画の説明があったが、改めて町の情報提供のあり方について見解を伺う。</p>	町長
2. 教育の更なる具体的発展・振興策の方向性について	<p>2019年6月定例会から2022年12月定例会まで15回の一般質問において、教育関連質問だけで延べ24件行った。</p> <p>議事録を全て読み返してみると、教育に対する議員の政策提案の実現は、大変難しいものだと感じた。国内の他の自治体を見ると先進的な取り組み、思い切った教育政策を行っている所も沢山ある。</p> <p>いくつかのホームページや書籍を読むと、財政や人口規模は関係なく、首長や教育長が「地域の人材育成や地域再生のため教育を発展させたい」という情熱によるものである。</p> <p>令和5年度は、令和6年度以降の教育大綱策定検討の重要な1年でもある。教育の更なる具体的発展・振興策の方向性を示す考えはあるか、町長のお考えを伺う。</p>	町長

質問事項	質問要旨	答弁 要求
1. 定年後の職業確保について	<p>湯沢町は、若者に対しての移住定住や協力隊の募集等により、新しい仕事の職業の展開が見えてくるようになった。しかし、定年後 60 歳からの職業確保も対策をしなければならない状況となっている。何か対策を町として考えているのか。</p>	町長
2. 障がい者対策について	<p>① 親なき後の生活確保を湯沢町はどのように考えているのか。</p> <p>② グループホームの設置はどのような状況になっているのか。</p> <p>③ 障がい者の雇用対策、マッチング対策はどのような状況になっているのか。</p> <p>④ 南魚沼市における障がい支援施設に、湯沢町はどのような支援をしているのか。</p>	町長
3. 随意契約について	<p>① 随意契約とはどのような契約か。</p> <p>② 随意契約のメリット、デメリットをどうお考えか。</p> <p>③ ②においてデメリットと答えられたことが、湯沢町で起きているのか。</p> <p>④ 監査報告において「随意契約で20年以上にわたり同一の業者が請け負っているものがありますが、疑念を持たれることのないようにしてください。」とあるが、この指摘についてどのように対応して行くのか。</p>	町長

質問事項	質問要旨	答弁 要求
1. 森林整備について	<p>町は今年、森林環境譲与税を活用して土樽地区において意向調査を行い、今後の整備に繋げていく予定であったが、どうもうまくいかなかったと聞きます。来年度は、神立地区において意向調査を行う事となっています。私は、早く全町で行い、町全体の整備に着手すべきと思っています。そこで、今後の取り組み方・考え方について伺います。</p> <p>① 今年、土樽地区において行った意向調査は、なぜうまくいかなかったのか。意向調査がうまくいかないと、次のステップに進めないと思うが如何か。</p> <p>② 毎年少しずつ行っているけれども、整備に入るのに数年かかってしまいます。伐期を迎えた森林は沢山あり、もっとスピードを上げて整備する必要があると思います。隣の南魚沼市が始めた「ふるさと里山再生整備事業補助金」制度が大変好評と聞きます。 湯沢町も早急に、こういう制度を設けて整備に入る必要があると思いますが、お考えを伺います。</p>	町長
2. ジュニアスキーについて	<p>2月9日 野沢温泉で行われた全中の男子SL競技を、久しぶりに観戦させていただきました。</p> <p>県の予選会での活躍を見て、全中でも入賞できるのではないかと考えていましたが、全国はやはり厳しかった。勝負をしての結果なので仕方ないと思うが、もう一歩であった。そこで、今後のジュニアスキーについて伺います。</p> <p>① シーズン途中でありますが、これまでの活動や成績等をどのように評価しているか伺います。</p> <p>② 今年度の中学生の選手は4名と聞いています。しかし、小学生の中にはスキーをやりたいと言う生徒が沢山いると聞きます。この生徒たちが、中学生になってもスキ</p>	教育長

	<p>一を続けてほしいと思いますが、育成会はどのように捉えているか伺います。</p> <p>③ 今後の活動は他市町との合同、地域クラブ的に活動していく必要があると思うが、教育長の考えを伺う。</p>	
--	---	--

質問事項	質問要旨	答弁 要求
1. 湯沢町の観光について	<p>湯沢町は合併以来、一貫して観光立町を掲げている。一方で、現状としては冬季に占める旅客需要の割合が大きく、季節によっての増減が課題であり、産業としては依然として不安定な基盤であるため、通年で安定した集客を見込める施策が常に求められている。それに関連して問う。</p> <p>① 湯沢町観光振興計画の初年度として重要な位置付けであった令和4年度における計画の進捗状況と課題、及び来年度の見通しは。</p> <p>② 多くの自治体の中から選ばれる旅行先となるために、湯沢町が顧客に与えることのできる独自の価値やブランドイメージはどんなものだと考えるか。</p> <p>③ 経済として見た際の観光とは消費の積み重ねであり、消費の種類には沢山の側面がある。旅行のトレンドとしてモノ消費からコト消費、イミ消費への転換というのが言われて久しい。これはつまり、単に行政もインフラ(物)を整備するだけではなく、そこで何をするのか(事)、それにはどんな意義があり、来訪者にとってどんな効果をもたらすのか(意味)まで含めて、考える必要があるということだ。町の各種インフラを整備する際に観光立町としてそういった分析をふまえて、計画立案や施設の設計などが行われているか。</p>	町長
2. 湯沢町の文化について	<p>関係人口・交流人口の拡大において、我が町がどんな町なのか、どういう文化に立脚して生活をしているのかというのは重要な要素だ。移住定住につながるためには地域を知ってもらうことが大事で、お祭りやイベントなどを通じて地域のカルチャーに触れてもらうことは欠かせない。町の文化を見つめ直すことは地域住民のシビックプライド(地域に対する愛着心・地元を誇りに思う気持ち)の醸成にも積</p>	町長

<p>3. 湯沢町のスポーツについて</p>	<p>極的に関与し、人口流出やUターンに対して一定の効果が 見込める。改めて問う。</p> <p>① 子どもからお年寄りまで男女問わず町民が自分たちの 地域の歴史や文化について十分に知っていて、来訪者に対 してそれを語れるような状態になっているか。なっていない のならばどのような施策が必要であると考えるか。</p> <p>② 町の総合戦略に「自然・歴史・文化を活かした観光地づ くり」とあり、事業概要として「町の自然・歴史・文化を 観光資源とし、地域の活性化につながる取組を実施しま す。」とある。この事業のK P Iの設定は令和6年度であ るが、達成の見込みはどうか。</p> <p>③ 湯沢の博物施設としては雪国館があるが、展示スペース にも限りがある。湯沢の文化、例えば童画であったり、ロ ックフェスのイベントであったりといったアートやカル チャー的な取り組みに恒常的に触れることのできる施設 が必要だと考えるが、町長の考えはどうか。</p> <p>スポーツは運動そのものを通じた交流も去る事ながら、そ こから派生して地域の活性化やまちづくりに資する取り組 みとして期待ができる。自然が豊かな我が町はスポーツに 適した条件が揃っており、その点ではかなり優位であると 考えられる。既に町内では中央公園を中心に運動施設があ り、また冬季は多くのウィンタースポーツが盛んだが、一 方でグリーンシーズンにおける取り組みには、まだ伸びしろ があると考ええる。</p> <p>① 町が今後特に推進していくスポーツは何か。</p> <p>② そのためにどのような取り組みや事業を考えているか。</p> <p>③ 町民や来訪者から前述と異なる推進してほしいスポー ツの提案があった場合にはどのように対応するか。またそ のための組織作りはどう考えているか。</p>	<p>町 長</p>
------------------------	---	------------

質問事項	質問要旨	答弁 要求
<p>1. 国民健康保険の運営について</p>	<p>① 県がまとめた「県内市町村の国民健康保険税滞納率の状況」と題する一覧表をみると、令和4年6月1日現在の数値で湯沢町の滞納率は21.7%（会員世帯数1,509、滞納世帯数327）となっていた。あまりの多さにびっくりして担当課に確かめたところ、これは県への報告が誤っており、正しくは12.8%（滞納世帯数194、滞納率12.8%）だと訂正された。</p> <p>それにしても滞納率12.8%は高い。県内の最高値である。次いで高いところは新潟市の11.1%、燕市の11.0%であり、あとは軒並み5%前後である。なぜ湯沢はこのような高い数値を示すのか、その状況をどのように捉えているのか伺う。</p> <p>② 短期証、資格証の発行までの手続きはどのようになっているのか。特に資格証の発行は慎重を期してもらいたい。</p> <p>このようなペナルティを受けた人の医療機関への受診状況を調べたことがあったが、一般人と比して著しく低い事実があった。人権侵害に当たるようなことはないのか。</p> <p>③ 国は令和4年度から国民健康保険税の軽減措置として、未就学児に対する均等割額の5割削減を打ち出した。一定の朗報である。</p> <p>しかし、税は働いて収入がある人から徴収するのが原則で、幼い子供から人头税のように徴収するのは、基本的に誤りである。町はこれを機会に、この措置を子ども（18歳未満）全体に広げる措置を取れないか伺う。</p>	<p>町長</p>

質問事項	質問要旨	答弁 要求
<p>1. 町民の足の確保について</p>	<p>今回の一般質問を考える時期と同時に「湯沢町地域移動環境計画」のパブリックコメントの募集があり、様々な意見が出ていることも踏まえて質問させていただきます。</p> <p>町は昨年移動に対するニーズと満足度について、アンケート調査を行いました。その中で、利便性について満足（やや満足も含め）は約18%、それに対して不満（やや不満含む）は約38%、将来の移動に対する安心度（まあ安心含む）が約15%、安心ではない（余り安心ではない）が約65%というように移動に対しての不安、課題が大きく感じられる結果となりました。</p> <p>都会と違い、湯沢町はやはり自家用車がないと生活できないのが現状です。しかし今回、町が5年間かけ検討していくということは、大切な一步になると考えます。</p> <p>私もパブリックコメントを出しましたが、今回その中でも、是非考えて頂きたいことを質問させていただきます。</p> <p>① 今、高齢者の免許返納を促していますが、返納後は足が無く不自由になるので、現状はなかなか免許証を返すことができない。</p> <p>地域ごとの週1回の福祉バスや、100円で乗れる町内バスなど運行されているが、町の中での用を足すことには大変不便です。もっとアクセスよく繋がる手段を考える必要があると思う。街中タクシーなども考えられるが町長の見解を伺う。</p> <p>② 車を持たない高齢者が、南魚沼市の病院などに通うためには、乗り替えを何回もしたり、時間調整をしたりと、特に足の悪い方等は本当に大変である。</p> <p>私が議員になり始めて質問した「南魚沼市は石打から市民病院、基幹病院へのバスが運行されている。湯沢町から石打までの運行ができれば、時間のロスも少なく一回の乗り換えで行くことが可能であるから、検討できないか」という内容に対し、「路線バスが走っているところは難しい」という4年前の答弁でした。</p>	<p>町長</p>

<p>2. 今後、町の 目指す政策、取 り組みについて</p>	<p>今回の地域移動環境計画を進めるうえで、南魚沼市の連携も視野に入れて考えていけると思うが如何か。</p> <p>③ 次に、湯沢町の宝である子供たちについてです。</p> <p>湯沢町の子供達は、高校への通学には必ず電車を使用しなければならない。駅までを徒歩、自転車での移動が可能な子供たちは良いが、どうしても保護者が送迎しなければならない子供達も大勢いる。早朝練習や朝学習等で、一足早い電車に乗らなければならない子供達。また、放課後部活動を終えて帰ってきた場合にも、迎えに行かなくてはならない子供達。</p> <p>送迎がなくても通える。また、交通の事情で選択できない子供達が出ない仕組みにしていけることが、子育てに優しいということではないでしょうか。</p> <p>家の事情でやりたいことができない子供がでないように。また、中学生の部活動についても、バスが決まっている子供は、途中で部活を切り上げなければならないという話を聞きました。ここは、すべての子供が同じことができるように考え、バスの時間も決めなければならないと思います。今後、地域移動環境計画の中でもしっかり考えていって頂きたいがお考えを伺います。</p> <p>湯沢町の中ばかりを見ていると、もっとこんな補助やこんな支援をして欲しいという意見も多く聞かれます。私は、他の市町村に比べ高齢者に対しても、子育て世代に対しても決して劣ることのない補助や支援が、行われていると評価しています。もちろん、すぐ効果が見える支援、補助なども大切です。しかしもっと大切なのは中身、将来に繋がる構想、取り組みなのではないかと考えます。</p> <p>① まず教育に関してですが、湯沢町は湯沢学園という素晴らしい校舎。そして、今年度は「待機児童ゼロ」と「放課後児童クラブの充実」を目指し、子育て支援棟が完成しました。本当に素晴らしい建物で、他市町村からの視察や、移住を考えている方の見学も増えるのではないかと思います。しかし、大切なことは中身、目指すものだと考えます。何回か一般質問をしてきましたが、「湯沢学園の目指</p>	<p>町 長</p>
---	---	------------

すもの」「取り組み」をもっとしっかり作り、打ち出すべきではないか。湯沢ならではの教育をもっと表に出していくべきでないか、特化した教育を考えていけないかと考えますがお考えをお聞かせください。

② 冬以外に、「人を呼び込む」取り組みについてです。新しい物、建物をつくれたらそれにこしたことはないが、今あるものをもっと活用する。

例えば、現在あまり使われていない土樽公園。また今後、「雪国魚沼ゴールデンサイクルルート」を推し進めるとしたら、自転車の台数や種類を増やすということだけではなく、湯沢町は坂が多く自転車を乗ることが結構きついで景色をみながら走れるサイクルロードに河川敷を利用できないかなど、すぐにできるものではないが、将来を見添えての計画を考えるのも必要ではないかと考えるが如何か。

③ また、突拍子もないことを言っていると思う方もいるかもしれませんが、真面目に考えていることがあります。

ウクライナなどの世界情勢による影響、原子力問題の影響、・気候変動・電気等のエネルギーの高騰・野菜の高騰など私達の生活に大きく影響しています。これは今回だけの問題ではなく、これから先もっと様々な影響がでてくると思います。

湯沢町は人口約 8,000 人の町、豊富な自然にも恵まれています。リスクを軽減するためにも長い目で捉え、雪や水を使った電力発電、木を使った燃料作りなど資源を自分の町で作ることができるのではと考えます。

また、町が「湯沢の特色を活かした稼げる行政」を目指してみることもできると考えるが、どうお考えか伺います。

質問事項	質問要旨	答弁 要求
<p>1. 国が掲げる異次元の少子化対策、県の子育て支援に対応する湯沢町の子育て支援政策の展開は</p>	<p>国は異次元の少子化対策として、児童手当を中心とした経済支援策の充実、学童保育や一時預かり、産後ケアなどのサービスの拡充、子育てしやすい働き方改革等を主要課題として検討が進められている。</p> <p>新潟県でも国の支援策の延長として、入園・入学時に定額給付する全国で類を見ない施策に取り組み、幅広い支援により県全体で子育て世代を応援するというメッセージを発している。このことを受けて、町では現在実施している独自の子育て支援策とのかかわりを整理する中で、湯沢町が子供を安心して産み育てられる地域として選ばれる環境整備と情報発信のため、更なるインパクトのある子育て支援策の実施を行う必要があると思うが町長の見解を問う。</p>	<p>町 長</p>
<p>2. 湯沢町の移住定住対策における効果の検証を</p>	<p>外部の力を活用した移住定住対策は、100人の移住者を迎えているということであり、転入者が転出者を上回り、人口減少率も新潟県内最少を記録し、素晴らしい結果が出ていると報告されている。しかしながら町の人口減少は続き、子供たちの出生率は伸びず、今後の展開としては厳しい状況も想定される。年代別の移住定住者と合わせて、年代別の転入・転出者の状況を明らかにして移住定住計画の検証、見直しをする必要がある。</p> <p>令和5年度から総務省が、地方への移住定住を強力に推進する政策を展開することから、行政・議会・町民が一丸となって、国の支援策を活用して人口減少に歯止めをかけ、人口増につなげる更なる政策の展開が必要であると考えますが、町長の見解を問う。</p>	<p>町 長</p>